



2020年度 活動報告書



NPO法人ABCジャパン

ABCジャパンは、横浜市鶴見区在住の日系ブラジル人が中心となり、2000年に発足した団体です（2006年にNPO法人化）。日本人も外国人も同じ町に暮らす者同士として支えあう様々な事業を行っています。特に外国人市民が「今、困っていることをなくす」「将来、困らないように」そして「共に楽しむ」ために続けている多彩な活動は、支援ではなく、お互いが住み心地のいい町・社会を作っていくための手段であると考えています。日本人も外国人も日系人も、大人も子どもも、共に暮らしていく仲間として日々目の前の課題に取り組み続けています。

団体概要

設立：2000年（2006年にNPO法人化）

代表：安富祖 美智江

スタッフ：15名

ボランティア：約30名

●表彰●

2018年 ブラジル国家勲章

2019年 外務大臣表彰

2019年 スミセイ未来賞 他…

●助成金事業●

- ・かながわボランティア活動推進基金21
- ・休眠預金活用助成「外国ルーツ青少年未来創造事業」
- ・WAM助成(社会福祉振興助成事業)
- ・文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

●連携先●

ブラジル大使館、ブラジル総領事館、神奈川県、横浜市、鶴見区、外務省、JICA、NPO法人サードプレイス、ひだまりの保育園、社会福祉法人青丘社、鶴見大学、フェリス女学院大学 他…

火	水	木	金
ABC フリースクール	ABC フリースクール		ABC フリースクール
日本語教室 (N4)	日本語教室 (N3)		日本語教室 (N2)
言葉と文化の教室 (中国)		言葉と文化の教室 (ブラジル)	言葉と文化の教室 (ブラジル)



大人の
日本語教室

大人の
ポルトガル語教室

大人の
中国語教室

2020年はコロナ禍によって様々な分野で支援を必要としている人が増えているのを実感している中、制限された活動方法でどのように支援を届けていくかが大きな課題の1年だったように思います。多くの教室やセミナーなどがオンライン開催を余儀なくされ、当初はどのようにやったらいいのかと悪戦苦闘していました。しかし振り返ってみると、参加者側の参加のハードルが低くなり、かねてから支援が届きにくかった外国人散在地域や遠い地域に住んでいる人へもアクセスができるようになりました。

これからどのようにコロナ禍が収束していくのかわかりませんが、この2020年度で磨かれたオンライン技術を上手に使い、対面だからこそ伝わる人との交流の場づくりを上手に使いながら、今後も今年度誕生したたくさんの事業を継続していきたいです。

オンライン化したさまざまな教室→



ABCジャパンのミッション

子どもの教育保障

教育の機会が限られがちな外国につながる子どもへ教育の場を

大人の自立支援

定住外国人が自立した生活を送れるよう学びの場を

コミュニティづくり

国籍関係ない、多様なひとがいるコミュニティを

こころのサポート

しんどくなったときに母語で心理士に相談できる場を

次世代へバトンタッチ

自分がつながる国のことを大切にしながら豊かな人生を

+a

必要だと思ったら、すぐに始めよう



子どもの教育保障

教育の機会が限られがちな外国につながる子どもへ教育の場を

ABCフリースクール



- ・ 生徒数：10名
（中学生4名、学齢超過生6名）
- ・ つながる国
ブラジル、フィリピン、コロンビア、
ネパール

2020年度のフリースクールはコロナ禍でオンライン形式で始まりましたが、状況に応じて対面での授業も行いながら、中学校・高校で学ぶ準備をしていきました。仕事減少などにより月謝の支払いが難しい家庭もあり、今年度は子どもたちが学び続けられるよう月謝を減額。子どもの支援だけでなく、コロナに関する情報収集が難しく不安を抱えていた保護者に対しても母語などで丁寧にやりとりをしました。例年とは違う教室運営でしたが、学習だけでなく「楽しみ・経験・居場所感」も大切に行いました。

大学進学ガイダンス



- ・ 参加者数：128名
- ・ 動画再生回数：2,680回（3日間）

第13回となる大学進学ガイダンス、今年度は新たに作成した『大学進学ガイドブック』を使った3日間のオンライン開催でした。最初の2日間はLIVEも交えた動画配信を行い、チャット機能を活用してリアルタイムでの質問ができるようにしました（最終日は動画配信のみ）。通常のプログラムをコンパクトにした内容になりましたが、オンラインで実施したことにより神奈川全域だけでなく、県外からの申込みも多くありました。

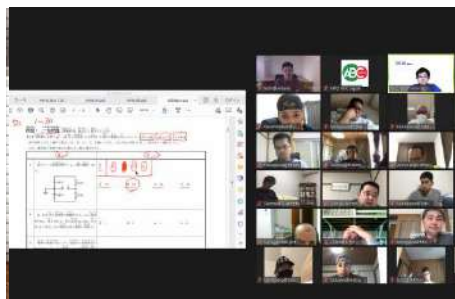


大学入試改革に伴い、以前のガイドブックを基に内容を刷新！
英語・中国語・ポルトガル語に加え、ニーズの高かったスペイン語版
を追加した4言語版を発行。団体HPから無料ダウンロードできます！

大人の自立支援

定住外国人が自立した生活を送れるよう学びの場を

第2種電気工事士試験対策講座



今年で5年目となりました。電気工事の仕事に携わっていても、現場と試験で使われる言葉が違っていたりして国家資格である電気工事士試験に合格することは難しいです。そのためやさしい日本語での対策講座を実施しています。今年度はコロナ禍で労働市場が不安定になる中、どこからでも参加できるオンラインでの開催となったため全国から参加者が集まりました。

大人の日本語教室



長年日本で暮らしていても仕事を優先し、日本語を体系的に学べていない人は少なくありません。そして地域社会に溶け込めない、安定した仕事に就けない、子どもの教育に関われない、などという悩みにつながっています。そこで学習者の生活スタイルに合わせて学習が続けられるオンライン日本語教室を開講しました。

コミュニティづくり

国籍は関係ない、多様なひとがいるコミュニティを

近隣中学校～大学との交流、研修・講師派遣、外国語教室など



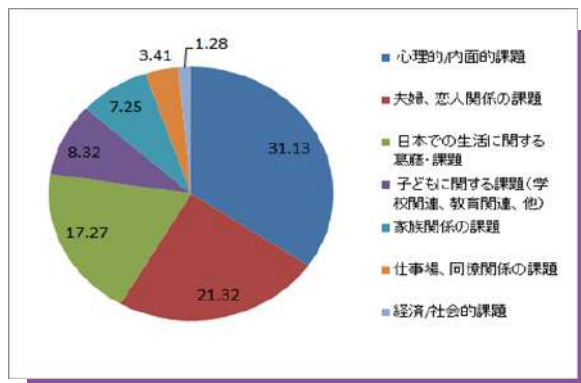
- ・フェリス女学院大学との交流授業
- ・日本語教育オンラインシンポジウム「地域社会での取り組みと多文化共生社会」
- ・多文化交流オンラインお茶会
- ・オンラインで楽しむブラジル音楽の世界
- ・地元中学校での多文化デイ
- ・リレートーク「多文化・多世代が集う長屋ビル」の取り組み

こころのサポート

しんどくなったときに母語で心理士に相談できる場を

団体設立時から続けている相談のなかで、一つ一つは小さな悩みや不安が積み重なり、心の健康に影響していくことに気づきました。そこで私たちは母語で相談できるように、ブラジルと日本の心理士の国家資格を持った専門家と協力し、2020年度より心のサポートを始めました。

心理相談・面接、心理サポートグループ



- ・ 相談件数：228件
(ただし25歳以上の相談のみの集計)
- ・ 相談者の在住地域
神奈川、愛知、静岡、東京、ブラジル、兵庫、群馬、茨城、滋賀、長野など

今年度から始まった心理カウンセリングは当初予定していた対面ではなく、5月よりオンライン面談を中心に実施しました。カウンセリングを行う中で医療に関する相談も多く、母語で相談できる場所が少ないという新たな課題が見えてきました。そこでブラジル国の医師免許を持った日本在住の医師により、2月から「医療相談・情報提供」も開始しました。グループワークでは共に移住の経験をした者同士でその苦悩や葛藤を共有しながら、傾聴・共感を通じて自ら発見・成長を促す活動などを行いました。ほかにも、コミュニティ・リーダーを担っている人や、家族をケアする人によるグループワークも行いました。

心理教育セミナー



- ・ 参加者数：21名
(通訳対象：8名、一般向け：13名)

通訳と支援者を対象にそれぞれセミナーを行いました。当初は対面予定でしたが、オンラインと対面を合わせて実施しました。通訳には移住過程に伴う心理的動きや家族ひとりひとりに及ぼす影響について伝え、知識と自己認識向上を目的としました。支援者には対人関係におけるコミュニケーションについて話し、日本でも満足して暮らせることを目的としました。それぞれ似た活動をしている者同士が集まったことで、話が深まり、刺激しあえる内容の濃いセミナーになりました。

次世代へバトンタッチ

自分がつながる国のことを大切にしながら豊かな人生を

日本語教室



安定的な職に就けておらず学校にも通っていない青少年、あるいはキャリア形成に向けて日本語を学びたい高校生のための幅広いレベルの日本語教室を開講。日本語を使う機会の少ない全国のブラジル学校の生徒にもオンライン教室を開いています。



言葉と文化を学ぶ教室



日本で生まれた子どもは自分のつながる国の言葉や文化をきちんと知る機会がなく、否定的に捉えて悩む子どもも少なくありません。そこで肯定的に捉えなおすことができるよう、つながりのある国の言語や文化を学べるブラジルと中国の教室を作りました。

先輩・後輩交流会



外国につながる子どもにとって、親でも先生でもない、ちょっと年上のお兄さん・お姉さんのような存在が近くにいることは、少し先の将来を考えると一つの道しるべになります。その関係性を多くの子どもに届けられるように企画し、高校生～大学生が参加しました。

キャリア支援相談会



高校卒業後の進路は進学だけでなく、働く道を選択する者もいます。その中で多様な選択ができるように、地元企業などと連携して相談会を開催しました。就職のために学べる公的機関とも連携し、「働くために学ぶ」という選択肢も示しています。



+α（プラス アルファ）

必要だと思ったら、すぐに始めてしまう

初の緊急事態宣言が出された4月頃から外国人労働者の雇用に関する相談が増えてきました。当初はまだ定額給付金などがあり、給与ももらえている状態ではありましたが、今後失業によって収入がなくなっていく家庭が出てくることを見込んで、5月より4か国語対応でのフードパントリーを始めました。実施にあたり、かながわフードバンクやブラジル総領事館等が協力してくださり、家庭だけでなく、群馬、愛知、茨城、大阪の団体にも支援を届けることができました。

フードパントリー



- ・届けた数：401家族
- ・国籍：
ブラジル、スリランカ、フィリピン、
ネパール、ペルー、インドネシア、
中国、タイ、モロッコなど

2021年の東日本大震災以降、6回目となる支援活動。今回はコロナ禍で収入が減った外国人世帯を対象に行いました。ホームページやSNSで4言語での申込みを受け付け、赤ちゃん～子どものための食べ物や宗教上で食べられないものなどに配慮して、ひとつひとつの家庭に食料を届けました。1日の発送が27家族になった日もありました。食料のご寄付だけでなく、フードバンクへの受け取りや、その仕分けのときにも多くの方々にご協力いただき、たくさんの家族に届けることができました。

フードパントリー メディア掲載

- ・タウンニュース鶴見区版（5/21）「外国人世帯に食糧品配布ーコロナ禍で解雇なども」
- ・神奈川新聞（6/4）「困窮外国人に食料を 支援団体が寄付募る」
- ・日本経済新聞（6/17）「食料品の無料配布」
- ・テレビ朝日「11:45の全国ニュース」（6/20）「コロナで困窮の外国人急増 横浜NPOが食糧支援」
- ・かじゃさんぽ（7/14）「たくさんの想いがつまった食料支援で、命をつなぐ」
- ・NHKニュース「首都圏ニュース」（1/27）「困窮の外国人世帯に食料支援」



4月

24：フリースクール・オンライン教室開始

5月

7：外国人家族のための食料品寄付募集&配布開始 ABCフードパントリー

6月

2：日経新聞取材：フードパントリー
16：京急フリーペーパー「なぎさ」取材
17：フリースクール・対面教室開始
19：鶴見日本語教室開始、テレビ朝日取材：フードパントリー



2020年度の活動



10月

8：スタッフ&ボランティア対象心理カウンセリング研修①
15：スタッフ&ボランティア対象心理カウンセリング研修②
20：社会体験研修受け入れ（座間総合高校教員）
25：JICA横浜 教員研修受け入れ
28：フリースクール見学受け入れ（平塚市立中教員・相模原市教委）

11月

6：フリースクールオンライン教室再開
20：フリースクール見学受け入れ（ロータリークラブ・オンライン）
25：フリースクール 第1回模擬テスト

12月

8：イエズス会来訪
13：日本語教育オンラインシンポジウム
20：心理カウンセリング通訳研修会②
中国のルーツの言葉と文化を学ぶ教室開始

7月

- 1：ブラジルのルーツの言葉と文化を学ぶ教室開始
- 2：潮田ケアプラザ・鶴見社会福祉協会来訪
- 14：神奈川県庁Webマガジン「かにゃさんぼ」取材
- 15：横浜市教育コーディネーター来訪

8月

- 11：JICA東京 教員研修受け入れ
- 13：先輩・後輩交流オンライン交流会（鶴見）
- 16：心理カウンセリング通訳者研修会①
- 19：フェリス女学院大学 オンライン研修授業
- 23：第2種電気工事士試験対策オンライン秋講座開始
- 27：潮田地区センター館長来訪
- 29：キャリア支援相談会

9月

- 16：フェリス女学院大学 & フリースクール・オンライン交流授業①
- 30：フェリス女学院大学 & フリースクール・オンライン交流授業②



1月

- 27：NHK横浜・フードパントリー取材
- 31：多文化交流オンラインお茶会

2月

- 2：JICA横浜出向受け入れ
- 11：フリースクール模擬面接
- 15：公立高校共通選抜（～17日）
- 18：スタッフ研修：フェリス女学院大学
- 20：オンラインで楽しむブラジル音楽の世界

3月

- 1：共通選抜合格発表
- 2：住友商事ランチセミナー発表
- 5：フードバンクかながわ・活動報告会発表
- 19：潮田中学校多文化デイ講演
- 24：大学進学オンラインガイダンス（～26日）
- 28：オンライントークリレー「鶴見に生まれた『多文化・多世代がつながる長屋ビル』の取組み」

NPO法人 ABCジャパン



〒230-0051
神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4-7-15
ラカンパーナ キソヤ302



045-550-3455



honbu@abcjapan.com

